

かすみがうら 市議会だより

目次 CONTENTS

- P2-3 9月定例会提出議案
- P4-5 議案審査特別委員会議案質疑
- P6-7 委員会活動
- P8-9 特集
- P10-13 一般質問
- P14 コラム

No.51



向原土地区画整理事業への支援に
関する決議（案）を可決

一般質問の一問一答方式を第4回
定例会から試行的に実施します



▲上佐谷地内の柿

平成29年第3回定例会議案等議決結果一覧

平成29年第3回定例会が、9月5日から9月20日までの16日間の会期で開催されました。今定例会では、一部の案件以外については、『平成29年第3回定例会議案審査特別委員会』を設置のうえ付託し慎重審査を行いました。また、9月6日から8日の3日間において一般質問（後頁P10～13）を行いました。

※賛成は○・反対は◆・不在は／で記載

中根議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません

議案番号	氏名 件名	氏名													議決結果			
		櫻井 繁行	宮嶋 謙	設楽 健夫	来栖 丈治	川村 成二	岡崎 勉	田谷 文子	古橋 智樹	小松崎 誠	加固 豊治	佐藤 文雄	中根 光男	鈴木 良道		小座野 定信	矢口 龍人	藤井 裕一
39	かすみがうら市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	-	○	○	○	○	○	原案可決
40	平成29年度かすみがうら市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	-	○	○	○	○	○	原案可決
41	平成29年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
42	平成29年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
43	平成29年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
44	平成29年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
45	平成29年度かすみがうら市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	原案可決
46	平成28年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について																	—
47	平成28年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について																	
48	平成28年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																	
49	平成28年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について																	
50	平成28年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について																	
51	平成28年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について																	
52	平成28年度かすみがうら市水道事業会計歳入歳出決算の認定について																	

決算審査特別委員会に付託し、閉会中審査

(前ページからのつづき)

議案番号	氏名 件名	櫻井	宮嶋	設楽	来栖	川村	岡崎	田谷	古橋	小松崎	加固	佐藤	中根	鈴木	小座野	矢口	藤井	議決結果
		繁行	謙	健夫	丈治	成二	勉	文子	智樹	誠	豊治	文雄	光男	良道	定信	龍人	裕一	
53	神立駅周辺地区都市再生整備計画事業の整備に係る費用の負担等に関する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
54	霞ヶ浦南小学校給食室厨房機器設備の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
55	霞ヶ浦中学校給食室厨房機器設備の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
56	救助工作車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
57	市道路線の認定について (下稲吉地内)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決
58	市道路線の認定について (稲吉南地内)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決

【請願書】

1	向原土地区画整理事業への支援について	○	◆	◆	○	○	○	◆	◆	○	○	◆	-	○	○	◆	○	趣旨採択
---	--------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

【議員発議】

1	向原土地区画整理事業への支援に関する決議(案)	○	◆	◆	○	○	○	◆	◆	○	○	◆	-	○	○	◆	○	原案可決
---	-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

【承認案件】

3	専決処分事項の承認を求めることについて〈平成29年度かすみがうら市一般会計補正予算(第2号)〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	承認
4	専決処分事項の承認を求めることについて〈権利の放棄〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	承認

【報告案件】

7	平成28年度かすみがうら市一般会計継続費精算報告書について
8	平成28年度かすみがうら市財政健全化判断比率及び資金不足比率について
9	専決処分事項の報告について〈損害賠償の額の決定及び和解〉
10	専決処分事項の報告について〈損害賠償の額の決定及び和解〉

平成29年 第3回定例会 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(9月12日開催)

議案審査特別委員会は15名の委員で構成

議案第39号

かすみがうら市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について

【議案の概要】

地方分権の進展に伴い、多様な任用・勤務形態を活用できるようにするため、専門的な知識・経験を有する者を活用するための任期付職員制度を条例化するものです。

Q この条例によるメリットは何か、臨時職員との違いは

A 任期付職員の採用期間は最長で3年、さらに状況によっては5年まで雇用が確保できる制度であり、雇用の安定等を図ることができることを見込んでいます。

議案第40号

平成29年度かすみがうら市一般会計補正予算（第3号）

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に4億9080万6000円を追加して総額を171億9930万9000円とするものです。主なものとして、神立停車場線に係る街路整備事業の増額や、生活保護総務事業の国庫負担金等超過交付返還金の増額です。

Q 神立停車場線の完成の見込みはいつごろになるのか

A 平成31年3月31日までに完了します。

Q 公共交通対策事業のバス購入費（3000万円）の内容は

A 行方市から土浦市間で運行している霞ヶ浦広域バスの更新費用となります。利用者が増えていることから来年度、現在より一回り大きいバスに更新します。



▲霞ヶ浦広域バス

Q 歩崎公園トイレ基本実施設計業務委託（368万3000円）とありますが、かすみキッチンなどを考慮して位置なども検討するのでしょうか

A 老朽化に伴い、建て替えを見据えた設計となります。歩崎の観光拠点づくりとして、観光誘客の拡大と6次産業化などの計画のひとつとして、全体を考慮した整備を考えております。

Q 霞ヶ浦公民館管理事業1600万円の内容は

A あじさい館の研修室の1つを防音仕様にし、楽器やコーラスなど音楽系の講座やサークル活動に対応します。また、あじさい館視聴覚室の映像、音響機器の更新を行います。



▲あじさい館研修室



▲防犯カメラ（稲吉ふれあい公園）

Q 地域安全事業の防犯カメラ設置は、今後計画的に増設や交換されていくものなのでしょうか

A 今回は警察署からの依頼を受けて志筑小学校付近、下稲吉小学校付近、霞ヶ浦中学校付近に設置するところです。今後は設置基準の作成も検討したいと考えております。

Q 千代田中学校区統合小学校環境整備事業政策の補正予算（49万5000円）の内容は

A 千代田中学校区統合小学校整備基本計画の策定に伴い、策定委員会の設置を予定しております。委員の構成につきましては、千代田中学校区の小中学校長、児童生徒の保護者代表、未就学児の保護者代表、市議会議員、学識経験者を予定しており、その委員に対する謝礼金を計上したものです。

Q 生活保護総務事業費の国庫負担金等超過交付返還金（7279万円）の内容は

A 前年に比べて医療給付費が少なかったことで、国庫負担金の返還金が生じたものです。

総務委員会

○閉会中に行われた委員会

8月8日開催の調査内容

- 地域公共交通再編実施計画(案)の概要について
広域バスやデマンドタクシーの再編について、市執行部から説明を受けました。

- 通学定期券購入費助成金の交付申請の状況について

- 支出伝票等の紛失を受けての再発防止策について

- サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業について
かすみがうら未来づくりカンパニーによる事業の状況報告を受けました。

- 地域未来投資促進法について

10月27日開催の調査内容

- 地域未来投資促進法を活用した今後の取り組みについて

- 市内における企業立地の動向について

- 防災行政無線システム(発令判断等)の概要について

- 恋瀬川洪水浸水想定区域の公表について

- 平成28年度かすみがうら市空家等実態調査結果について

- 旧穴倉小学校施設転用整備事業について

- 電子入札の利用登録状況について



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎委員会室)

視察研修

- 茨城県産のクリを蒸してペースト状に加工した商品を新たに開発した市内の事業所、株式会社せき石岡営業所の取り組み状況を調査



▲工場内の説明を受ける委員
【株式会社せき石岡営業所】

文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

10月19日開催の調査内容

●かすみがうら市小中一貫教育基本方針(案)について

市内すべての小中学校における小中一貫教育の指針となるかすみがうら市小中一貫教育基本方針(案)について、市執行部から説明を受けました。



▲説明を受ける委員
(千代田庁舎委員会室)

産業建設委員会

○委員会付託案件の審査

9月11日開催の調査内容

●議案第57号

市道路線の認定について

(下稲吉地内)

開発行為により造成された道路を市道認定するものです。



▲市道認定箇所の現地調査
【下稲吉地内】

●議案第58号

市道路線の認定について

(稲吉南地内)

都市計画道路工事により、付け替え道路としての道路を市道認定するものです。



▲市道認定箇所の現地調査
【稲吉南地内】

向原土地区画整理事業への支援に関する決議を可決 ～課題に真摯に向き合い最善を尽くすことを市に要望～

「向原土地区画整理事業への支援について」の請願書が向原土地区画整理組合から提出され、趣旨採択されました。

向原土地区画整理事業の支援については、市と組合の相互が課題に真摯に向き合い、最善を尽くす必要があることから、請願の審議を踏まえ、議員9名から下記決議（案）が提出され、賛成多数で可決されました。

向原土地区画整理事業への支援に関する決議

当該土地区画整理事業は、地権者自らが組織する組合の施行によるものであり、保留地の処分金を主な財源として着手した。しかし、その後の経済状況や地価下落により、事業計画及び収支は大きく崩れ、資金不足が発生し、解消できずに、現在に至っている。

国は施行指針の中で、組合経営の健全化を図るためには、組合員の自助努力により各種方策を機動的に導入することが必須であるとしている。

当該組合の事業は既に完了し、債務のみが残されている状況から、組合は、その経営状況を自ら再度的確に把握し、その位置を認識するとともに必要な措置を講ずることが求められており、自助努力の第一段階として賦課金を徴収したことは評価する。

一方、指導的立場にある市や関係機関の取り組みも非常に重要かつ不可欠である。

我々は、この置かれた現状を重く受け止め、これまでの市長の提案のとおり、解決に向けた組合の自助努力及び関係機関の協力を礎として、相互が本件の課題に真摯に向き合い、最善を尽くすことを求めるものであるが、市は下記の事項について特段の措置を講ずるよう要望する。

記

- 1 市と向原土地区画整理組合は、現在、本件について調停の最中にある。その結果が出された場合、市は最大限これに配慮しつつ、真摯な対応に注力すること。
- 2 市が支援の可否判断をする場合は、法的根拠又は類する根拠に向き合って論ずること。

以上、決議する。

主な討論

賛成討論	反対討論
<ul style="list-style-type: none"> ・向原土地区画整理事業は公共性の高い事業であり、新たな住宅が立ち並び良好な市街地環境となりつつある。決議案は現在進められている調停への配慮もあり、課題解決へ向けての指針となりえると考えため賛成 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業はまだ多くの資産が残っており、この資産を精算しない限りこの決議は無意味となるため反対 ・組合の請願の期待に応えるにはこの決議では足りないため反対 ・調停終了後に慎重に精査し議論すべきと考えるため反対

議員全体視察研修を実施 10月11日～13日

10月12日に秋田県男鹿市・大潟村（秋田県男鹿半島・大潟ジオパーク）、13日には秋田県大仙市を訪問し、市議会議員全体視察研修を実施しました。

【視察地及び研修事項】

- ①秋田県男鹿市・大潟村（秋田県男鹿半島・大潟ジオパーク）
 - 男鹿半島・大潟ジオパークのテーマと特徴について
- ②秋田県大仙市
 - 小中学校における学力向上の取り組みについて



▲大潟村干拓博物館前にて



▲大仙市役所前にて



▲大潟村干拓博物館にて説明を受ける議員

一般質問における一問一答方式の導入を市に申し入れました

一般質問における一問一答方式について質疑の論点を明確にし、市民に開かれたよりわかりやすい議会を目指すため、8月29日、市長に一問一答方式導入に関する申し入れを行いました。

次回定例会の一般質問から試行的に一問一答方式を導入する予定となっています。

※一問一答方式については裏表紙「豆辞典」を参照



▲議長から市長へ申し入れ

宮嶋 謙 議員



Q フードバンクのきずなBOXの設置について

A 設置・支援に向けた関係機関との調整を図ってまいります

Q わが国の子ども7人に1人が貧困家庭で育てられている状況の中、一方で、包装の破損や食べ残しなど、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスは増え続けています。企業や家庭で余剰となった食品を寄付してもらい、困窮家庭へ無償で提供するフードバンク活動に、市としても積極的に参加し、食品寄付を受けるきずなBOXを公共施設などに設置していくべきではないでしょうか。

A 保健福祉部長 かすみがうら市でもフードバンクから大量の食品提供を受けていますので、きずなBOXの設置など、支援に向けて調整をしていきたいと思っております。

Q かすみがうら市では福島原発事故の反省から、平成25年に非核・脱原発平和都市宣言を行っており、核に頼らない、平和で安全な都市を目指すという強い思いが宣言され、内外からも高く評価されています。東海第二原発の再稼働に関し、非核・脱原発平和都市宣言を行った都市として、再稼働反対の意思を積極的に発信していくべきではないでしょうか。

A 市長 東海第二原発の再稼働につきましては、現在、原子力規制委員会で審査中であり、国のエネルギー政策の問題でもありますので、新規制基準をクリアするなど国が安全確保を確約し、地元自治体の合意を得ることが大前提という考えに変わりはありません。

質問事項

- 1 フードバンクのきずなボックス設置など生活困窮家庭に対する福祉の充実について
- 2 図書館機能の充実による市民文化活動の活性化について
- 3 非核脱原発平和都市宣言と市の取り組みについて



▲きずなBOX (千代田ショッピングモール)

古橋 智樹 議員



Q 災害避難時の物資の需要は満たしているか伺う

A 目標量の4倍の食料を備えております

Q 東日本大震災から6年半が経過し、原発稼働に関する課題や北朝鮮国の日本国上空を超える弾道ミサイルの発射などがあり、防災に対する市民の意識は高まっていると察するが、本市の避難所には災害避難時に必要となる物資の需要を何%満たしているか伺う。

A 総務部長 本市の災害用備蓄品は千代田庁舎、霞ヶ浦庁舎及びやまゆり館に保存食や飲料水、毛布、土のうなどを保管しており、また19カ所の指定避難所には防災倉庫を整備しております。食料品の備蓄量として、想定罹災人口の3日分の5%を目標値としており、現在、6500食分を備蓄して目標量の4倍を備えております。

Q 6号バイパス千代田区間について、本市の必要性を根拠をもって国に伝えることが事業の完成につながると思うが、市長の考えを伺う。

A 市長 国道6号線につきましては茨城県内の4車線化は大変おくれており、千代田バイパスのみならず茨城県全体で協議会を作って陳情をしています。私もいろんな機会を見て、粘り強いお願い、陳情をしていきたいと考えております。

質問事項

- 1 他市との防災協定を結んだ避難所確保の根拠等について
- 3.2 勤労青少年ホームの老朽化と整備方針について
東西幹線道路整備等要望の国・県・他市への市長対応と進捗について



▲防災倉庫 (北小学校)



田谷 文子 議員

Q 千代田中学校に既存校舎を利用した小中一貫校を作る計画はあるか伺う

A 地区説明を進めていることから、どのような学校を作るといふ段階ではないと認識しています

Q 千代田中学校に、既存の校舎を利用した小中一貫校、一体型の小中一貫校を作る計画はあるのか伺う。

A 教育長 千代田中学校区の小中一貫教育については地域の実情に即した十分な検討が必要であり、また、現在、地区の保護者に十分な説明を進めていることから、早急にどのような学校を作るといふ段階ではないと認識しています。

Q 本市の女性の採用率および管理職的地位にある職員について、今後どのような計画であるのか伺う。

A 総務部長 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の規定によりまして、本市では平成32年度までに課長級以上の女性職員を1名以上、課長補佐級の女性職員を10名以上とする目標を掲げております。平成29年度においては、課長級の職員1名、課長補佐級の職員8名の体制となっております。また、女性の採用率について平成29年度は40%となっております。

質問事項

- 1 かすみがうら市小中一貫教育基本方針の早急な整備及び千代田中地区4小学校統合と併せての義務教育学校の必要性並びに統合校整備の遅延・停滞からの脱却対応としての市長・教育長に求められているものは何かについて
- 2 職場における女性の働きやすい職場環境づくりと人材活用及び登用について



▲千代田中学校



佐藤 文雄 議員

Q 新広域ごみ処理施設の建設・運営に関する入札結果は、第1回定例会の一般質問で「日立造船(株)が落札するというレールは敷かれている」と、私が指摘したとおりの業者が落札した。私は官製談合の疑いが濃いと考えるが、市長の見解を求めらる。

A 環境経済部長 私といたしましては、談合問題に関しましては判断しかねるところでありますし、また、入札結果につきましては、霞台厚生施設組合において適正な競争入札が行われた結果であるものと考えているところでございます。

Q 新広域ごみ処理施設の建設・運営に関する入札結果は、第1回定例会の一般質問で「日立造船(株)が落札するというレールは敷かれている」と、私が指摘したとおりの業者が落札した。私は官製談合の疑いが濃いと考えるが、市長の見解を求めらる。

A 環境経済部長 私といたしましては、談合問題に関しましては判断しかねるところでありますし、また、入札結果につきましては、霞台厚生施設組合において適正な競争入札が行われた結果であるものと考えているところでございます。

Q 免許証や車を持たない市民に対する公共交通システムについて、市民からは今でも土浦協同病院への通院が困難などの切実な声が寄せられている。具体的な対策と実施に向けたスケジュールを伺う。

A 市長公室長 本市では霞ヶ浦広域バスを初め路線バスやデマンド型乗り合いタクシーを両立させた交通体系のもと、交通弱者の移動支援に努めています。また、運転免許証を自主返納した高齢者の移動支援についても本年度から高齢者運転免許証自主返納支援事業として、市内を運行する路線バス事業者が発行する回数乗車券の交付を行っています。現在、地域公共交通再編実施計画を策定中であります。

質問事項

- 1 新たな広域ごみ処理施設建設問題について
- 2 東海第二原発20年延長問題について
- 3 子どもの貧困対策について
- 4 公共交通システムの改善について
- 5 国民健康保険について
- 6 上下水道事業について





矢口 龍人 議員

Q 協働のまちづくりを推進するための事業方針について

A 近隣自治体の状況を参考にしつつ、組織の体制と業務を整えてまいります

Q 本市の協働のまちづくりを積極的かつ強力に推進するためには市の窓口を一本化し、地域住民にわかりやすく、まちづくりに参加しやすい状況を作り出すことが必要と考えるが、今後の事業方針について伺う。

A 市長公室長 本市においては昨年度より秘書広聴課に市民活動・男女共同参画推進室を設置しております。今後、人口減少や少子高齢化など、これまでとは異なった地域の課題が生じることが予測されることから、近隣自治体の状況を参考にしつつ、組織の体制と業務を整えてまいります。

Q 市全体でのまちづくりを進めるにあたって、中学校区単位でまちづくりを推進することが必要と考えるが、具体的な計画について伺う。

A 市長公室長 地方創生の総合戦略は、市の総合計画と整合性を取っております。今後、長期スパンの中でハードを加えた事業の推進あるいは早急な中で対応するソフト事業などを加味しながら、それぞれの中学校も含めた市全体のまちづくりを考えております。

質問事項

1 協働のまちづくりにおける地域コミュニティづくりの在り方と今後の方針について

2 地方創生総合戦略における本市のコンパクトシティ（下稻吉中地区）とコンパクトビレッジ（千代田中地区・霞ヶ浦中地区）にちなみまちづくりについて



設楽 健夫 議員

Q 土浦市、石岡市、つくば市で制定されている市長等政治倫理条例の忌避理由は何か

A 各分野において共通の高い倫理観が必要と思われれます

Q 土浦市、石岡市、つくば市で制定されている市長等政治倫理条例の忌避理由は何か、政治倫理条例制定の二元代表制における市長等特別職の責務について、市長等特別職政治倫理条例の提案環境整備とは何か、市長答弁を求める。

A 市長 条例を提案するには、各分野において共通の高い倫理観が必要と思われれます。今後も、各分野の状況把握に努めて参ります、ご理解の程お願いいたします。

Q 北の百里基地連絡道路、南の千葉茨城道路・美浦栄線等、霞ヶ浦に面する道路が出来て来ています。霞ヶ浦二橋の市内路線道路の調査を、かすみがうら市が積極的に期成同盟の中で発言、要望をしていくことが必要です。市長の答弁を求めます。

A 市長 霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟の会長を仰せつかっております。また要望活動する予定になっております。事務局も担当して、大変大きな構想であります。一歩でも二歩でも前に進むよう努力していきたいと考えております。

質問事項

1 繰り返されるコンプライアンス違反と市長（特別職）の政治倫理条例について

2 土浦市等との広域行政の推進について

3 霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟の設立経緯と要望書について

4 志戸崎地区活性化計画の総括と対策並びに第30回あゆみ祭りの日程変更（一ヶ月前開催）について



21 新市建設計画と合併特例債事業について
就学前教育と家庭教育について

質 問 事 項

来 栖 文 治 議 員



Q 合併特例債事業の進捗状況について

A 既に限度額の9割程度の合併特例債を発行しております

Q 本市は合併して12年が経過し、合併協定や新市建設計画に沿って事業が実践されてきたが、その事業の進捗状況と旧両町の区分において、どの程度の割合で特例債事業が行われたか伺う。

A 市長公室長 合併特例債の限度額に対して、既に9割程度の特例債を発行しております。地区の活用状況は、千代田地区55%霞ヶ浦地区45%と捉えており、旧合併協議会の中でもこの数字が協議をされたものと思われまます。

Q 本市でこれまで就学前教育として行っていた事業、家庭教育の充実のために行ってきた事業の具体的な取り組み内容について伺う。

A 保健福祉部長 就学前教育として、保育所では児童が地元小学校を訪問し、校舎見学や、一部授業の体験をするなどの交流会を実施しております。また、家庭教育への支援策としては、母子手帳の交付にあわせ、乳児から就学前の年齢児の発育の目安など記載した子育てガイドブックをお渡しするとともに、子育てアドバイザーとして市民子育て支援員の紹介、さらに市の子育て専用サイトかすみ湖を紹介し、活用を促しております。



本会議の録画放映をインターネットで配信しています!

【かすみがうら市議会ホームページ】

かすみがうら市議会

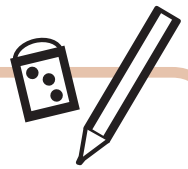
検索

<http://www.city.kasumigaura.ibaraki.jp/gikai/>

市議会ホームページでは、本会議の録画映像を配信しています。スマートフォンやタブレットにも対応しているので、いつでも、どこでも、議会映像を見ることができます。



▲市議会ホームページ「録画放映」



議会日誌 (8月1日～10月31日まで)

- 8月 ●
 - 8日 議会運営委員会
総務委員会
 - 18日 湖北環境衛生組合議会第2回定例会
 - 22日 石岡地方斎場組合第2回定例会
 - 29日 議会運営委員会
全員協議会
- 9月 ●
 - 5日 議会運営委員会
全員協議会
 - 5日～20日 平成29年第3回定例会
産業建設委員会
一般会計決算審査特別委員会
特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会
 - 12日 平成29年第3回定例会議案審査特別委員会
 - 20日 議会運営委員会
全員協議会
- 10月 ●
 - 2日～3日 新治地方広域事務組合視察研修
議員全体視察研修
 - 11日～13日 平成29年新治地方広域事務組合第2回定例会
文教厚生委員会
 - 16日 平成29年新治地方広域事務組合第2回定例会
議案により編集特別委員会
 - 19日 文教科厚生委員会
 - 23日 議会により編集特別委員会
 - 27日 総務委員会
総務委員会視察研修
 - 31日 議会により編集特別委員会
- 11月 ●
 - 21日 特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会
 - 22日・26日・27日 一般会計決算審査特別委員会
 - 26日 議会により編集特別委員会

議会を傍聴して 市の動きを知りましょう!

議会は特別な場合を除きだれでも傍聴することができます。傍聴手続きは、先着順で受付簿に住所、氏名をご記入いただくだけで、傍聴席（一般席定員25人）に入場できます。かすみがうら市議会議場は、千代田庁舎3階です。



編集 後記

晩秋は、来年度の予算編成の時期。車社会ニーズから特に道路改善が、毎年各地区から要望されます。緊急安全性の需要が高いものや地区配分でも順に配慮するため、限られた予算でお待たせすることばかり。そうはあっても議会はこれら需要と供給が、最大公約数のベストマッチとなるよう、チェックに努めます。

議会により編集委員 古橋 智樹



一問一答方式とは？

質疑し、これに答弁し、次いで質疑、答弁という形式で同一質問者と答弁者の間で問答を続けることをいう。一問し、答弁がなされ、なお納得できないときは再質疑し、続いて第3問、第4問と順次同じように質疑が進行する。

一問一答方式は議論が明確でわかりやすいことや、一つの事項を深く掘り下げて議論できることから、採用する地方議会は増えている。また、予備的審査機関である委員会では、一般には一問一答方式が通例である。

(参考) 地方議会運営辞典)

ご意見をお寄せ下さい